

2025年7月29日

関係各位

野村ホールディングス株式会社

コード番号8604

東証プライム市場・名証プレミア市場

奥田グループCEO決算コメントおよびハイライト **(2026年3月期第1四半期 連結決算)**

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)の2026年3月期第1四半期(2025年4-6月、以下「当四半期」)連結決算概要をお知らせします。

当四半期の収益合計(金融費用控除後)は5,233億円(前四半期比16%増、前年同期比15%増)、税
前利益は1,603億円(同64%増、56%増)、当期純利益は1,046億円(同45%増、52%増)、ROEは
12.0%となりました。

グループCEOの奥田健太郎は以下のように述べています。

「当四半期は、すべての部門において前四半期比で増収増益を達成し、過去最高の当期純利益を更新した昨年度からの好調な流れを引き継ぎ、順調なスタートを切ることができました。KPIとして重視しているROEは12%となり、目標レンジを着実に達成し、ビジネスは順調に推移しています。特に、不透明な市場環境のなかでも、これまで強化してきた安定型ビジネスが着実に成果を上げるとともに、市場のボラティリティ上昇に伴いグローバルで多様化するお客様のニーズに対しても、的確に対応できたと自負しております。

ウェルス・マネジメント部門では、お客様のニーズに寄り添ったコンサルティングを徹底した結果、資産管理型ビジネスが引き続き成長し、ストック資産は13四半期連続で純増となりました。インベストメント・マネジメント部門においても、9四半期連続で資金純流入が続き、運用資産残高は過去最高の94.3兆円に達し、安定収益の拡大が着実に進んでいます。さらに、この好調なモメンタムに加え、米国資産運用会社の買収を発表し、グローバルなプラットフォームの強化に向け大きな一歩を踏み出しました。ホールセール部門のグローバル・マーケットでは、グローバルで顧客取引が顕著に増加し、米州、欧州、アジアの各地域における多様な商品・サービスを通じて増収を実現しました。インベストメント・バンキングでは、世界的な先行き不透明感が強まる中でも、日本ビジネスが全体を牽引し、多数の大型案件に関与したことで、前年同期比で増収となりました。また、本年4月に新設したバンキング部門では、ローン残高の拡大に加え、勘定系システムの更改などを進め、銀行業務拡大に向けた基盤整備を着実に推進しています。

グローバルな市場環境が大きく変動する中、ビジネスモデルの変革による安定収益の着実な積み上げと、グローバルなプラットフォームを活かした多様な収益モデルの効果が顕著に表れ、当社の強みが存分に発揮された四半期となりました。今後も積極的に成長機会を捉え、規律ある投資を通じて新たな挑戦とさらなる収益の拡大を目指してまいります」

決算ハイライト

全社

- 全社の税前利益は1,603億円、当期純利益は1,046億円でした。
- EPSは34.04円(前四半期比46%増)、ROEは12.0%(前四半期は8.2%)となりました。

	当四半期	前四半期比	前年同期比
収益合計 (金融費用控除後)	5,233億円	+16%	+15%
税前利益(損失)	1,603億円	+64%	+56%
当期純利益(損失)	1,046億円	+45%	+52%

主要4部門

- ウェルス・マネジメント部門は、不透明な市場環境のなか、お客様ニーズに寄り添ったコンサルティングの提供により、フロー収入等が伸長しました。ストック資産純増も13四半期連続で達成、直近四半期累計のストック収入費用カバー率は69%となりました。
- インベストメント・マネジメント部門は、アセットマネジメント・ビジネスは引き続き堅調で、9四半期連続で資金純流入を達成しました。運用資産残高は過去最高の94.3兆円となりました。
- ホールセール部門は、ボラティリティの上昇と顧客アクティビティの増加を的確に捉え、グローバル・マーケットは増収となりました。インベストメント・バンキングは、日本ビジネスが牽引し、第1四半期としては比較可能な2017年3月期以降最高の四半期収益となりました。
- バンキング部門(2025年4月新設)では貸出業務や信託・エージェント業務からの収入が堅調に推移しました。

	収益合計(金融費用控除後)			税前利益(損失)		
	当四半期	前四半期比	前年同期比	当四半期	前四半期比	前年同期比
ウェルス・マネジメント部門	1,058億円	+6%	-4%	388億円	+8%	-6%
インベストメント・マネジメント部門	506億円	+18%	+6%	215億円	+39%	-7%
ホールセール部門	2,611億円	+1%	+7%	419億円	+12%	+98%
バンキング部門	128億円	+12%	+14%	36億円	+19%	-10%
合計	4,303億円	+4%	+4%	1,058億円	+15%	+18%

【ご参考】

[決算関連情報\(決算短信・説明資料\)](#)

以上

詳細につきましては、[当社ホームページ](#)にて掲載の決算短信および決算説明資料をご覧ください。また、本日(2025年7月29日)午後6時30分より、決算説明会(テレフォン・カンファレンス)を開催する予定です。この模様は、[当社ホームページ](#)を通じてライブ配信します。

本資料は、米国会計基準による2026年3月期第1四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされています。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。